

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	児童発達支援センターらいむの丘			
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～	令和6年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	138	(回答者数)	97
○従業者評価実施期間	令和6 10月 1日		～	令和6年 10月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動内容のバリエーションが豊かである。	子の様子に合わせて、多職種の職員が専門的な視点でプログラムを組み立てている、	チームでの連携を継続し、支援を行う。
2	子の様子に合わせた、その時にふさわしい遊びの提供。	PTなど身体に関する専門職と保育士と一緒に、発達課題に合った遊びを提供している。	発達課題に合った支援を今後も継続していく。
3	職員の資質の向上を図るため、さまざまな研修会を行っている。	資質向上の為、内外の研修会に参加したり、開催している。 近隣市町の施設職員も参加できるようにし、地域全体の資質向上に努めている。	定期的な開催を、今後も継続していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への連絡体制が不十分なところがある。	きずなネットを中心に行っているが、発信内容が、休所日や緊急時の連絡程度であった。	現在は毎月お便りや昼食の献立を送り、向上に努めている。
2	希望する訓練が取りづらい。	訓練士、特に言語聴覚士の人員不足のため、要望に応えられていない。	募集を行っている。
3	人員（保育士）が不足している。	配置基準は満たしているが、保育士が不足している。	募集を行っている。